

『開発と国際共生』

現代国際社会の抱える深刻な課題は、開発途上国の貧困問題である。国際社会の共通の目標として、2000年に策定された「ミレニアム開発目標(MDGs)」は、2015年までに極貧状態の人口を半減させるなど、経済・社会開発の目標を掲げている。その実現のために、国連諸機関や各国政府では様々な取り組みがなされ、NGOや企業との連携も行われている。しかし、MDGsの達成は、極めて困難な状況にある。大阪女学院大学国際共生研究所の掲げる「国際共生」の観点から、開発問題を理論的・実践的に捉えることを目指して、国際開発学の専門家による講演会を開催する。

発題Ⅰ 「貧困をなくすミレニアム開発目標へのアプローチ」
講演者 勝間 靖氏 (早稲田大学 教授)

発題Ⅱ 『『援助効果』議論から見るNGO・市民社会の役割』
講演者 高柳 彰夫氏 (フェリス女学院大学 教授)

コメンテーター 真崎 克彦氏 (甲南大学 准教授)
司 会 西井 正弘 大阪女学院大学 教授

日 時： 2013年1月12日(土) 14時～17時 (受付 13時30分から)
会 場： 大阪女学院大学 第一会議室
JR大阪環状線「玉造」駅 西へ約700m
大阪市営地下鉄「玉造」駅 1号出口より西へ約300m

【参加無料・お申込みはメールにて受付】
E-mail: riicc@wilmina.ac.jp

【お問い合わせ】
大阪女学院大学 国際共生研究所 (担当：田中紀・太田)
〒540-0004 大阪市中央区玉造2-26-54
Tel: 06-6761-9371 Fax: 06-6761-9373